

穴吹不動産流通株式会社 高知店 市況レポート（1月）

●市況について

2024年は、政治・経済がともに不安定な状況に陥る可能性が高まるものと予想されています。経済についてはインフレの進行が早期に収束する気配はなく、今後も物価の上昇は続くものと考えられます。産業界では人手不足の問題が深刻で、事業の継続が難しくなっている中小企業が増加しています。

このような動きは住宅・不動産市場にも強く反映されます。特に住宅市場では、地価の高止まりに加えて建築費の高騰もあり、新規供給は先細りになっていくものと考えられます。一方で、最近の中古流通市場では土地や中古住宅の売却依頼件数の増加が著しく、価格も一部軟調になっている傾向にあります。売却理由としては換金処分の他、相続や離婚による相談が多くなっています。

●不動産概況

超低金利と金融緩和が長く続いたため不動産価格は上昇し、不動産市場は活況を続けてきました。しかし、コロナ禍、ウクライナ紛争、更にイスラエルとハマスの戦いまで生まれ、世界経済が混乱し、インフレが国民生活を圧迫し始めています。そのため住宅購入の主役である世帯は生活が厳しくなり、購買力の低下がみられます。不動産市場は金融情勢に大きく左右されますが、金利は上昇傾向で審査も厳しくなるため、不動産価格は弱含みとなることが考えられます。

●まとめ

時勢や経済動向など今後の先行きは不透明ですが、**不動産の売却のタイミング**を見定めていくこと、**市場に沿った適正価格での販売活動**が重要になります。

このような先行き不安の中で、ご自身の所有不動産だけでなく、**相続予定のご両親・ご親戚が所有されている不動産の価値を今一度把握されてみてはいかがでしょうか？**

穴吹不動産流通では、営業社員全員が「**相続診断士**」の資格を保有しております。相続診断士とは相続の基本的な知識を身につけ、お客様に「相続診断」出来る資格です。生前から相続問題や思いを残す大切さを伝えていき、お客様と一緒に相続と家族の問題に向き合っていきます。

相続に関するお悩み事や不動産に関わるご質問がございましたらお気軽にお問い合わせくださいませ。**お客様のお役に立てるよう精いっぱい頑張ります。ぜひお任せください！**